

# 英語

## ミクロの英文読解、 マクロの英文読解

英文読解の学習には、ミクロとマクロの2つの視点があります。  
ミクロの英文読解とは、1つの英文の「文構造」を分析しながら読むこと。このミクロの読解ができないと、単語の意味をただ繋ぎ合わせただけの意味不明の和訳をすることになります。  
練成ユニットの講義では、「文構造」分析力を強化するトレーニングを行います。そして、現在の入試では、単独での出題は少なくなっていますが、「英文法」の理解が、その訓練には必修です。  
そのため練成ユニットでは、英文読解に必要な英文法を総整理して、その理解を深めてもらいます。  
実戦ユニットからマクロの英文読解に移行します。読解の視点を文ではなく、パラグラフ(段落)、そして文全体に移行し、文の主題を素早くつかむトレーニングをします。  
ミクロとマクロの英文読解、その2つの読解力を高めれば、難関大学の長文読解問題もスラスラと正確に解けるようになります。



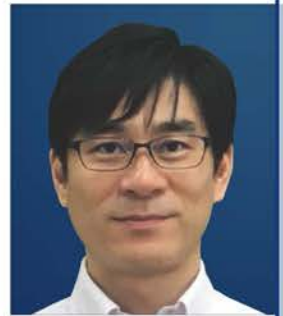
石橋 渉先生

国公立大英語  
難関私大英語  
私大英語  
早慶大英語  
大学入学共通テスト 英語  
[リーディング]

# 数学

## 受験数学突破の 正攻法

難関大学の数学の攻略には、難しい問題を数多く解くことが大切と考える受験生が多いようです。  
ところが、これまで数多くの受験生を指導しての実感は、「基礎の理解なくして応用問題の攻略はあり得ない」ということです。応用問題を解くカギは、「教科書の基礎事項の深い理解」にあります。公式を例にすると、公式を覚えるだけでは不十分で、大切なのは公式の証明過程の理解です。その理解が、数学的思考力を高め、応用演習を重ねていく際にとっても効いてきます。大学入試の問題は、高校の教科書の内容を用いれば解くことが出来るよう作問されています。この基礎事項を理解する勉強を大切にしましょう。  
講義では、応用問題の解法解説の際にも、常に根底にある基礎事項の考え方を確認します。問題の解き方を暗記するだけの勉強は合理的ではありません。「基礎の徹底した理解を踏まえ、応用問題の解法を理解する」、これが受験数学突破の正攻法です。



天野 貴宣先生

入試理系数学

# 現代文

## 現代文で 泣かせません

“現代文はやってもやらなくても変わらない。日本語だから何とかなる。”英語・社会、国公立大受験生であればさらに数学・理科、やるべき勉強が山ほどある中で、現代文は後回しにされがちです。しかし、かつてのセンター試験を例にとると、失敗原因科目のナンバーワンは現代文と言っても過言ではありません。センター現代文で失敗して出願大学のランクを泣く泣く下げた受験生を多数知っています。大学入学共通テストに変わっても同じことが言えます。  
入試現代文で失敗しないためには、問題文から設問解答に必要な情報をいかに正確に、かつ素早く見つけ出すか、その情報収集能力を強化する必要があります。この能力をいかに最短時間でみなさんに身につけさせるかが私の役割です。受験勉強全体時間の10%は現代文の勉強に割り振って、私についてきてください。現代文で泣かない読解力を身につけてもらいます。



児玉 克順先生

入試現代文  
入試現代文(基礎)  
早大国語(現代文)  
大学入学共通テスト 現代文

# 化学

## 思考・試行の 化学!!!

皆さんは今まで高校化学をどう勉強してきましたか？

知識事項や計算問題の解き方の原理・本質を理解することなく、テスト前に膨大な単純丸暗記をして、テスト後には忘れてしまうことの繰り返しではないでしょうか。

高校化学は、勉強の仕方次第で、暗記量や勉強時間を大きく減らすことができます。そのときに重要なポイントになるのは、「思考と試行」。毎回の授業ではそのコツを伝えていきます。それを自分のものにすれば、国公立、MARCH、関関同立レベルの問題でも8～9割以上の高得点が取れることは、過去のたくさんの先輩たちが証明してくれています。

最小労力で大学入試化学を得点源科目にして、脳の暗記容量は英語に、勉強時間は数学に費やして、笑顔で合格できるように、いっしょにがんばっていきましょう!



吉村 直樹先生

入試化学  
大学入学共通テスト  
化学基礎  
大学入学共通テスト  
化学

# 生物

## 脱!丸暗記 生物の勉強を楽しもう

“生物の勉強と言えば暗記、自分は暗記が苦手。だから生物は苦手。”そんな思いの人がたくさんいるかと思いますが、確かに暗記は必要ですが、生物の用語を一问一答的に丸暗記するのは賢明とは言えません。大切なことは、丸暗記ではなく本質をとらえた理解の積み上げです。理解の積み上げができると、覚えることが苦にならなくなります。各分野の内容が有機的につながり、応用力が身につきます。そして、何よりも生物の勉強が楽しくなってきます。教科書レベルの基本を疎かにせず、ひとつひとつの内容を深く正確に理解してください。

講義では、基本知識を一から丁寧に解説し、志望校合格に必要な学力を徹底的に養成します。図にもこだわって板書していますのでしっかりと書き留めてください。理解がより深まり、記憶に定着します。



三浦 忠義先生

入試生物

# 世界史

## 明るく楽しく 情報整理!～受験世界史攻略法～

限られた時間の中で結果を出さなければならない「受験世界史」の学習方法には、正解があります。

第一に、入試出題用語が確実に網羅された教材を一つに絞り、「知識の核」にすること。

趣味で楽しむ世界史や大学で学ぶ歴史学と異なり、大学入試の世界史は「情報整理学」の側面が否めません。そして膨大な歴史用語を効率的に整理・記憶するには、用語網羅性のみならず、教材が記憶しやすいレイアウトであることも重要です。テキストはこのような思想のもと設計されています。

第二に、適切な講義を受講し、テキスト内容を完全に理解・記憶すること。

正しい理解もなく、ただ用語を丸暗記する学習はただの苦行です。受験世界史が情報整理中心なのは事実ですが、それは楽しみながら学ぶことと矛盾しません。「わかる→楽しい→記憶に残る」というサイクルを構築するべく講義をおこなっていきます。



鈴木 悠介先生

入試世界史  
大学入学共通テスト  
世界史B